

# 5 中長期的なテーマ 高齢者にやさしいまちづくり

誰一人取り残さない日本一の“高齢者にやさしいまち”を目指して

## 総合高齢社会対策プロジェクト × SDGs

「すべての人にとってやさしいまち」を目指す総合高齢社会対策と、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すSDGsは、まさに同じ方向性を目指すものです。  
豊島区は「総合高齢社会対策プロジェクト」の取組を通して、一人暮らしでも健康で安心してらせるまちを実現します。



**対策の3本柱**

- 社会的孤立ゼロ** → 誰一人取り残さないまちへ
- 100歳健康** → 地域でいきいきと暮らす
- 一人暮らしでも安心** → いざという時の安心をサポート

人口密度日本一の豊島区は、一人暮らし高齢者の割合も日本一高い自治体です。一人暮らしの高齢者でも安全・安心に暮らせるよう、「社会的孤立ゼロ」「100歳健康」「一人暮らしでも安心」の3本柱で対策を推進していきます。

### 入浴特化型デイサービスのモデル実施

一人での入浴が困難な方向けに、入浴特化型デイサービス（短時間・送迎あり）のモデル事業を実施します。自宅にお風呂がない方や、歩行が困難な方に移動支援も含めた入浴支援を行います。



◀リフトがついている浴槽もあります

【対象者・圏域】 入浴ニーズが高く、銭湯や介護サービス事業所が少ない日常生活圏（2地区）で要支援認定者等の対象者を選定 【想定】 南部地区10名/回、東部地区5名/回  
【実施期間】 令和5年6～8月（月4回 3か月間）  
【利用料】 1人500円/回

### 短期集中通所型サービスの拡充

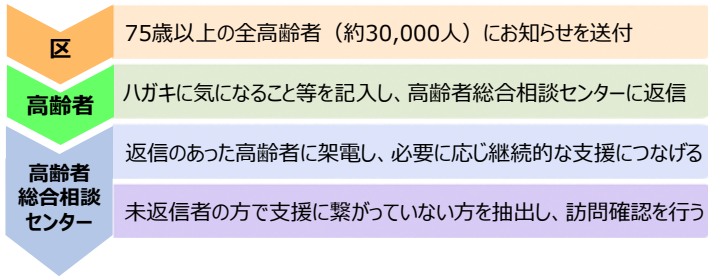
週1回、約3か月、リハビリの専門職による運動プログラムを提供し、高齢者の身体機能の回復・向上を図ります。  
実施回数、実施会場を拡充し、より区民の方が利用しやすいサービスにします。





## ウィズコロナにおける 高齢者への呼びかけ事業

長期化するコロナ禍における孤立化を防ぐため、75歳以上の全高齢者へ感染症対策等の啓発並びに郵送による相談受付を行います。



<令和4年度送付物>



## 精神疾患を持つ高齢者対応強化

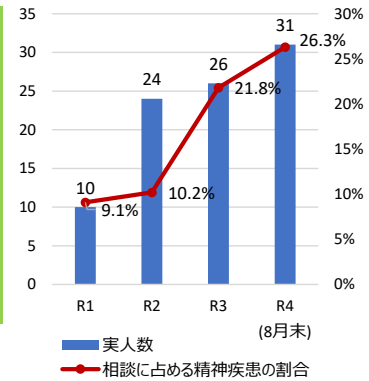
コロナ禍により精神疾患が背景にある課題が表面化・深刻化し、相談件数が増加しています。

専門相談機能やアウトリーチを強化し、困難事例にも積極的に介入することにより、課題を解決します。

【精神疾患が原因で生じる主な問題事象】

- 近隣トラブル（騒音・悪臭等）
- 触法・犯罪行為（器物破損、傷害等）
- 高齢者虐待
- セルフネグレクト（ゴミ屋敷・孤立死）

コロナ前後で対応件数が約3倍に増加！



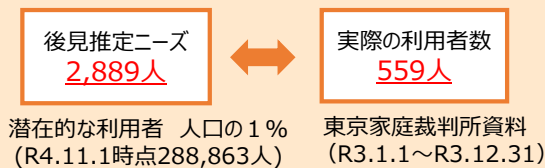
## 成年後見制度の利用促進

権利擁護支援体制を強化するため、新たに専門知識を有する団体等により構成される「(仮称)豊島区成年後見制度利用促進協議会」及び、外部の有識者を入れた「(仮称)豊島区成年後見人等候補者調整会議」を設置します。あわせて、チームによる支援専門相談や親族後見人等支援を新たに実施します。



<強化の目的>

### ◆制度につながる人を増やします



／ メリットを実感！ ／

### ◆適切な後見人を選定します

被後見人の希望と後見人の方針が合わないことがあると言われています。

➡ 適切な後見人候補者の選定により  
ミスマッチを防ぎます。